

みずほCustomer Desk Report 2024/03/29号(As of 2024/03/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	151.54
TKY 9:00AM	151.29	1.0814	163.56	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	151.55	1.0828	163.95	1.2615	0.6522
SYD-NY Low	151.15	1.0775	163.14	1.2654	0.6540
NY 5:00 PM	151.39	1.0790	163.27	1.2587	0.6486
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,807.37	47.29	日本2年債	0.1900%	0.0000%
NASDAQ	16,379.46	▲ 20.06	日本10年債	0.7000%	▲0.0200%
S&P	5,254.35	5.86	米国2年債	4.6262%	0.0591%
日経平均	40,168.07	▲ 594.66	米国5年債	4.2186%	0.0368%
TOPIX	2,750.81	▲ 48.47	米国10年債	4.2053%	0.0179%
シカゴ日経先物	40,400.00	▲ 110.00	独10年債	2.2920%	0.0020%
ロンドンFT	7,952.62	20.64	英10年債	3.9335%	0.0080%
DAX	18,492.49	15.40	豪10年債	4.0010%	▲0.0230%
ハンセン指数	16,541.42	148.58	USDJPY 1M Vol	7.61%	0.18%
上海総合	3,010.66	17.52	USDJPY 3M Vol	8.11%	▲0.06%
NY金	2,238.40	25.70	USDJPY 6M Vol	8.41%	▲0.05%
WTI	83.17	1.82	USDJPY 1M 25RR	▲1.21%	Yen Call Over
CRB指数	290.29	3.53	EURJPY 3M Vol	7.71%	▲0.05%
ドルインデックス	104.55	0.20	EURJPY 6M Vol	8.22%	0.06%

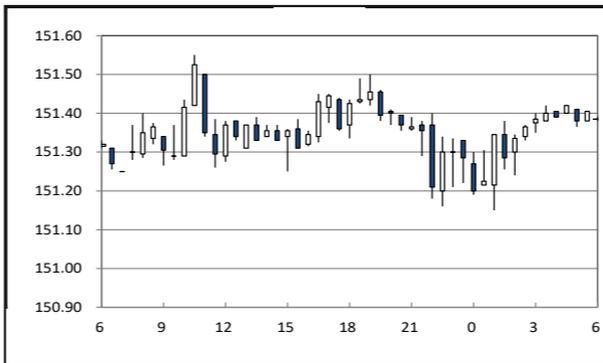
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月28日	08:50	日 日銀 主な意見(3月会合)	「物価安定の目標の実現の見通しがある程度立った」	
	16:00	独 小売売上高(前月比)	2月 -1.9%	0.4%
	16:00	英 GDP(前期比/前年比)・確報	4Q -0.3%/-0.2%	-0.3%/-0.2%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q T 3.4%	3.2%
	21:30	米 個人消費	4Q T 3.3%	3.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	23-Mar 210K	212K
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	2月 1.6%	1.5%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	3月 79.4	76.5

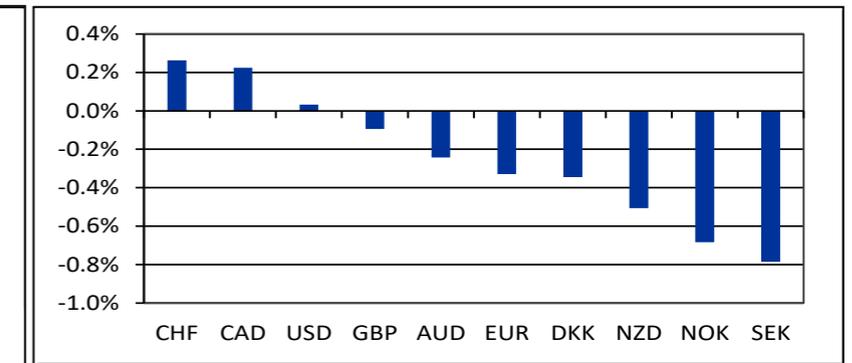
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月29日	08:30	日 東京(CPI/コアCPI/コアコアCPI)	3月 2.5%/2.4%/2.9%	2.5%/2.5%/3.1%
	08:30	日 失業率	2月 2.4%	2.4%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	2月 0.2%	-0.2%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	2月 0.3%/2.8%	0.4%/2.8%
3月31日	10:30	中 製造業PMI	3月 50.1	49.1
	10:30	中 非製造業PMI	3月 51.4	51.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.50-151.90	1.0750-1.0850	162.50-164.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は東京時間早朝のウォラーFRB理事のタカ派発言を受け、ドルが強含む展開。一巡後は、本邦当局による為替介入への警戒もありドル円の上値は重く推移、その後はイースター休暇前ということもあり方向感に欠いた動きとなった。
 本日は米株、債券、商品市場が休場。その他多くの国が休場となる。一方米2月PCEコアデフレーター(市場予想は前月比+0.3%の高止まりを予想)やパウエル議長の発言などのイベントが予定される。FRBが利下げに慎重な姿勢を維持する中、ドルの底堅さは維持されようが、参加者少ない中、相場の荒い値動きには警戒したい。

東京	東京時間のドル円は151.29レベルでオープン。早朝のウォラー理事の発言を受けたドル買い地合いに、仲値にかけての実需の買いも相まってじりじりと値を上げるも、上昇は151.55まで。その後流れが一服すると、期末のフローが交錯する中、当局への警戒感もあってか上値は重く推移し、151円台前半を中心とした推移が続き、151.31レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.31レベルでオープン。ドル円は方向感なく推移し151.37レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0822レベルでオープン。ECB高官の「緩和策の条件が整いつつある」との発言に一時1.0775まで低下。結局1.0784レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円前半でスタート。ウォラーFRB理事が「年内に予想されている利下げの全体的な回数を減らすか、さらに先送りするのが適切だ」との考えを示すと、ドル買いが優勢となり、151.55まで買われる。しかし、その後は為替介入への警戒感や、期末の円買いフローが相まって、その後は151.40付近を挟んだ上値重い展開が続き、151.37レベルでNYオープン。朝方に発表された米第4四半期GDP(確報値)や、個人消費(確報値)等が予想を上回るも、引き続き為替介入への警戒感から特段大きなドル買いにはならず、その後も151.30付近を中心とした推移が続く。午後は米金利が戻す展開を受け、151.40付近まで小幅上昇し、151.39レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。パネッタ・イタリア中銀総裁の「政策緩和の条件は整いつつある」との発言を受け、ユーロドルは軟調な値動きとなり、1.0784レベルでNYオープン。午前中は米金利の低下を支えとし、1.0819まで戻す場面もあったが、その後は独金利も低下する展開に買いは長く続かず、1.08台ちょうど付近まで反落。午後は1.08台を割り込み、1.0790付近での推移が続き、1.0790レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。